Japanese Journal of Applied Psychology
2022, Vol. 48, No. 2, 121-133

2022年度　第2回常任理事会：議事録

日　時：2022年7月30日（土）
14時00分～16時30分
場　所：オンライン会議（Zoom利用）および立正大学8号館社会心理調査実習室
出席者：古屋健（理事長），田中真介（副理事長），上瀬由美子，軽部幸浩，川本利恵子*，木村友昭，桐生正幸，小林剛史，田中堅一郎，谷口淳一（以上，常任理事）来田宣幸（第88回大会委員長）
事務局：軽部幸浩（事務局長），時田学，山田順子（以上，幹事）
（＊は欠席者：敬称略，五十音順）

I　報告事項

1. 理事長挨拶（古屋健理事長）
・理事長より，オンライン会議の開催について常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1）機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
・2022年8月出版予定の機関誌『応用心理学研究』第48巻1号について，7月末時点で原著2本，資料1本，短報2本の掲載が決まっていること，ならびに昨年度12月に開催されたカスタマーハラスメントに関する公開シンポジウムの記録1本が掲載予定であることが説明された。
・2022年7月30日現在，2021年4月から2022年7月までの投稿数は原著27本，資料7本，短報13本の合計47本であった。
・2021年4月以降の審査状況は，採択論文数22本，不採択論文数18本，取り下げ論文数7本であり，現在審査中の論文数は17本であった。
・渡辺伸子氏が機関誌編集委員を辞退されることが報告された。

2）企画委員会（桐生正幸委員長）
・公開シンポジウム『いわゆる「あおり運転」について考える！』が11月19日（土）に開催予定であることが説明された。
・「学会研修会」については，動画をYouTubeで公開予定であることが説明された。

3）広報委員会（谷口淳一委員長）
・『応用心理学のクロスロード』第14号が7月22日に校了され，応用心理学研究第1号に同封して発送予定であることが報告された。
・『応用心理学のクロスロード』第15号については8月初旬に第1回編集委員会を開催予定であることが説明された。

4）「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
・応用心理士認定申請者について，2022年度前期において4名の申請があり，委員会において全員の認定が承認されたことが報告された。

5）国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
・ICAP2023について申込等が準備中であることが説明された。

6）学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
・学会賞の第1次選考が行われたことが報告された。
・第88回応用心理学会大会における優秀大会発表賞の投票は，昨年度と同様オンライン投票で行うことが報告された。なお第88回大会は懇親会が開催されないことから，昨年度受賞者の表彰は行わず，受賞者には表彰状が郵送されることが説明された。

7）学会活性化委員会（田中堅一郎委員長）
・応用心理士の上級資格（「上級応用心理士（仮称）」）について報告がなされた。
・「応用心理士会」の設置について提言がなされた。

8）齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：軽部幸浩事務局長）

・斎藤勇記念出版賞について，1件の申請があったことが報告された。

9）倫理委員会（田中真介委員長）

・研究相談の機会を設ける案が出ていることが報告された。

10）学会史編纂委員会（古屋健委員長）

・新型コロナウイルス感染症の状況によりインタビューの実施が困難であることが説明された。

3. 日本心理学諸学会連合について（古屋健委員長）

・2022年度第1回社員総会の内容について報告がなされた。

4. 心理学検定について（小林剛史委員長）

・検定局運営委員として新たに13名が追加されたことが報告された。

・第15回心理学検定の試験期間が開始しており，最終日である8月31日受験の予約は7月3日から可能となっていること，また試験日の予約および変更は8月26日まで可能であることが説明された。

5. 2022年度88回大会について（来田宣幸委員長）

・第88回大会のスケジュールおよびプログラム案について説明がなされた。

・一般研究発表76件，自主企画発表3件，教育発表8件の申込みがあり，4つの大会企画が予定されていることが報告された。なお大会企画については録画をYouTubeで公開予定である。

6. 理事会および総会の開催について

・理事会は大会前日の9月16日にオンラインで開催予定である。総会については9月18日の昼に対面での開催とし，常任理事会は18日の夕方（17時頃から30分程度）に対面で実施されることが報告された。

7. その他

・特になし。

II　審議事項

1. 2021年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）

・2021年度決算について説明がなされた。また監査報告については後日メール審議がなされることが説明され，いずれも承認された。

2. 2022年度予算に関する件（軽部幸浩事務局長）

・2022年度予算について説明がなされ，承認された。

3. 『応用心理学研究』投稿・執筆規程改定に関する件（上瀬由美子委員長）

・現行の投稿・執筆規程の改定について，審査の過程で求められた場合は著者負担において英文校閲を行うこと，また採択決定後の著者都合による論文の取下げについては印刷にかかる費用を著者に請求できることを新たに追加することが説明され，承認された。

4. 学会賞選考に関する件（木村友昭委員長）

・2022年7月10日に第1次選考において決定された論文賞ならびに奨励賞の推薦論文について報告がなされ，いずれも承認された。

5. 齊藤勇記念出版賞選考に関する件（代読：軽部幸浩事務局長）

・2021年度齊藤勇記念出版賞選考について1件の推薦がなされ，承認された。

6. 第90回大会に関する件

・2024年度第90回大会は，帝塚山大学（谷口淳一委員長）で開催されることが説明され，承認された。

7. その他

特になし。

※次回の常任理事会は，2022年9月18日（日）第88回大会終了後（17時頃を予定）に，京都工芸繊維大学において開催予定である。

以上

2022年度　理事会：議事録

日　時：2022年9月16日（金）
16時00分～17時30分
場　所：オンライン会議（Zoom会議）
出席者：古屋健（理事長），田中真介（副理事長），阿南あゆみ，伊坂裕子，板津裕己，伊藤武彦*，伊藤令枝，臼井伸之介，角山剛，上瀬由美子，亀岡聖朗，軽部幸浩，川本利恵子，来田宣幸，北川公路，木村友昭，桐生正幸，小林剛史，佐々木史之，佐々木美智子*，沢宮容子，髙石光一，田中堅一郎，谷口淳一，種ヶ嶋尚志，時田学，外島裕*，中井宏，深澤伸幸，藤田主一，堀洋元，松田浩平，八木善彦，山本勝則*，蓮花一己*，和田万紀（以上，理事）
久保尚也，深見将志（以上，監事）
事務局：軽部幸浩（事務局長），時田学，山田順子*（以上，幹事）
オブザーバ：大坊郁夫，森下高治
（＊は欠席者；敬称略，五十音順）

I　理事長挨拶
・理事長より，オンライン会議に出席された理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

II　2022年度第88回大会委員長挨拶（来田宣幸大会委員長）
・明日から開催される，ハイブリッド・オンライン大会の説明と抱負が述べられた。

III　報告事項
1. 事業報告
(1) 会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）
・2022年8月31日現在の会員数は，一般会員（970名），院生会員（49名），学生会員（2名），名誉会員（28名），終身会員（56名），賛助会員（2名）の合計1,107名で，2021年度に対する会員減少は14名であった。
・2016年度から2022年度の会費納入状況についての説明があった。
・2022年度の会費納入率は，74.6%であった。
(2) 委員会報告
1) 機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
・2021年4月から2021年7月までの投稿数は，原著論文28本，資料論文8本，短報論文15本の合計51本であった。
・機関誌『応用心理学研究』投稿・編集規程について新規追加の報告があった。追加内容は，「英語については，ネイティブの専門家（投稿論文の専門領域に関わる英語を適切に校閲できるもの）の責任ある校閲を経た文章であることが求められる。編集委員が必要と認めた場合には，審査の過程で改めて論文のネイティブ・チェックを指定された形で行うよう求めることがある。この費用は著者の負担とする。」「採択決定後に著者都合による論文の取下げが生じた場合，編集委員会は，印刷のためにそれまでかかった費用を著者に請求することができる」である。
2) 企画委員会（桐生正幸委員長）
・第87回大会学会研修会について報告された。
・2021年度の公開シンポジウムについて報告された。
・2022年度の活動予定としては，学会研修会の開催，公開シンポジウム（いわゆる「あおり運転」について考える！）の企画が報告された。
3) 広報委員会（谷口淳一委員長）
・『応用心理学のクロスロードVol. 14』の発行について報告された。
・『応用心理学のクロスロードVol. 15』の企画案について報告された。
4)「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
・2022年度前期申請者は4名だった。
5) 国際交流委員会（川本利恵子委員長）
・国際応用心理学会（ICAP2022）北京大会における本学会会員の研究発表を対

象に，英文特集号の作成準備を始める予定である。

6）学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

・2022年度学会賞について報告があった。
・オンラインでの優秀大会発表賞投票の方法について報告があった。

7）学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）

・2021年度，2022年度の学会活性・研究支援委員会開催状況が報告された。
・若手会員研究奨励賞について報告された。
・上級応用心理士（仮称）について報告された。

8）倫理委員会（田中真介副理事長）

・基本方針と具体的な活動について報告がなされた。
・基本方針は，「会員の研究を，倫理的な配慮の面からサポートしていくための基礎的な支援活動を行う。研究対象を大切にして理解を深め，対象を尊重した研究の方法論を洗練していくことによって，得られたデータの信頼性も高まり，よりよい研究となっていく。会員各位が研究の社会的・実践的な価値を実感し新たに発見し創出していけるように，研究実践の活動を倫理的な観点から支えていきたい」である。
・具体的な活動については，「会員の研究活動での倫理的配慮に関するアドバイス」「機関誌『応用心理学研究』投稿論文の倫理面のサポート」「各大学・研究諸機関での「倫理綱領」「倫理規程」の集約と検討」「研究倫理及び研究対象者の保護に関する最新情報の収集と分析」などである。

9）齊藤勇記念出版賞選考委員会（川本利恵子委員長）

・藤田尚弓氏著『いい人間関係は「敬語のくずし方」できまる』（青春出版社，2021年9月2日発行）が選考された。

10）学会史編纂委員会（古屋健理事長）

・「昨年行えなかった名誉会員のインタビューを企画」「名誉会員（80歳以上）に応用心理関係書類寄贈のお願いを送る」について報告があった。

2. 事務局幹事の交代について（軽部幸浩事務局長）
　・小林麻衣氏に代わり山田順子氏が幹事になったことが報告された。
3. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
　・第15回心理学検定は，7月19日～8月31日までCBT（Computer Based Testing）で実施された。
　・第4期役員選挙の詳細が報告された。
4. 心理学検定について（小林剛史常任理事）
　・2023年より「夏季試験」「春季試験」を加えた年2回の検定が実施されることが報告された。
5. 『応用心理学ハンドブック』刊行について（古屋健理事長）
　・9月28日発行予定である。
6. その他
　・特になし。

IV　審議事項

1. 2021年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
　・2021年度決算書が開示され，審議の結果，承認された。
2. 2022年度予算に関する件（軽部幸浩事務局長）
　・2022年度予算が開示され，審議の結果，承認された。
3. 名誉会員の推挙に関する件（古屋健理事長）
　・角山剛氏，深澤伸幸氏，山本勝則氏が推挙され，審議の結果，承認された。
4. 2024年度第90回大会（大会当番機関）に関する件（古屋健理事長）
　・帝塚山大学（奈良県奈良市）に大会開催を依頼する提案があり，審議の結果，承認された。

V　2023年度第89回大会委員長挨拶（髙石光一大会委員長）

大会委員長の髙石光一氏（亜細亜大学）から大会開催についての挨拶があった。

以上

2022年度　総会：議事録

日　時：2022年9月16日（金）
　　16時00分～17時30分
場　所：ハイブリッド・オンライン会議（対面，Zoom会議併用）
出席者：89名（対面），1,014名（オンデマンド）

総会は，司会の軽部幸浩事務局長による開会宣言の後，次第にしたがって進められた。

I　理事長挨拶

・理事長より，対面・オンライン会議に出席された会員の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

II　2022年度第88回大会委員長挨拶（来田宜幸大会委員長）

・大会参加者へ感謝の言葉が述べられた。

III　議長選出（軽部幸浩事務局長）

・慣例に従って，来田宜幸大会委員長が議長として選出された。

IV　報告事項

1. 事業報告

(1) 会員の異動および会費納入状況（軽部幸浩事務局長）

・2022年8月31日現在の会員数は，一般会員（970名），院生会員（49名），学生会員（2名），名誉会員（28名），終身会員（56名），賛助会員（2名）の合計1,107名で，2021年度に対する会員減少は14名であった。

・2022年度の会費納入率は，74.6%であった。

(2) 委員会報告

1）機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）

・2021年4月から2021年7月までの投稿数は，原著論文28本，資料論文8本，短報論文15本の合計51本であった。

・機関誌『応用心理学研究』投稿・編集規程について新規追加の報告があった。追加内容は，「英語については，ネイティブの専門家（投稿論文の専門領域に関わる英語を適切に校閲できるもの）の責任ある校閲を経た文章であることが求められる。編集委員が必要と認めた場合には，審査の過程で改めて論文のネイティブ・チェックを指定された形で行うよう求めることがある。この費用は著者の負担とする。」「採択決定後に著者都合による論文の取下げが生じた場合，編集委員会は，印刷のためにそれまでかかった費用を著者に請求することができる」である。

2）企画委員会（桐生正幸委員長）

・第87回大会学会研修会について報告された。

・2021年度の公開シンポジウムについて報告された。

・2022年度の活動予定としては，学会研修会の開催，公開シンポジウム（いわゆる「あおり運転」について考える！）の企画が報告された。

3）広報委員会（谷口淳一委員長）

・『応用心理学のクロスロードVol. 14』の発行について報告された。

・『応用心理学のクロスロードVol. 15』の企画案について報告された。

4）「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）

・2022年度前期申請者は4名だった。

5）国際交流委員会（軽部幸浩事務局長代読）

・国際応用心理学会（ICAP2022）北京大会における本学会会員の研究発表を対象に，英文特集号の作成準備を始める予定である。

6）学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

・2022年度学会賞について報告があった。

・オンラインでの優秀大会発表賞投票の方法について報告があった。

7）学会活性・研究支援委員会（田中堅一郎委員長）

・2021年度，2022年度の学会活性・研究支援委員会開催状況が報告された。

・若手会員研究奨励賞について報告された。
・上級応用心理士（仮称）について報告された。

8）倫理委員会（田中真介副理事長）
・基本方針と具体的な活動について報告がなされた。
・基本方針は，「会員の研究を，倫理的な配慮の面からサポートしていくための基礎的な支援活動を行う。研究対象を大切にして理解を深め，対象を尊重した研究の方法論を洗練していくことによって，得られたデータの信頼性も高まり，よりよい研究となっていく。会員各位が研究の社会的・実践的な価値を実感し新たに発見し創出していけるように，研究実践の活動を倫理的な観点から支えていきたい」である。
・具体的な活動については，「会員の研究活動での倫理的配慮に関するアドバイス」「機関誌『応用心理学研究』投稿論文の倫理面のサポート」「各大学・研究諸機関での「倫理綱領」「倫理規程」の集約と検討」「研究倫理及び研究対象者の保護に関する最新情報の収集と分析」などである。

9）齊藤勇記念出版賞選考委員会（軽部幸浩事務局長代読）
・藤田尚弓氏著『いい人間関係は「敬語のくずし方」できまる』（青春出版社，2021年9月2日発行）が選考された。

10）学会史編纂委員会（古屋健理事長）
・「昨年行えなかった名誉会員のインタビューを企画」「名誉会員（80歳以上）に応用心理関係書類寄贈のお願いを送る」について報告があった。

2. 事務局幹事の交代について（軽部幸浩事務局長）
・小林麻衣氏に代わり山田順子氏が幹事になったことが報告された。

3. 一般社団法人日本心理学諸学会連合について（古屋健理事長）
・第15回心理学検定は，7月19日～8月31日までCBT（Computer Based Testing）で実施された。
・第4期役員選挙の詳細が報告された。

4. 心理学検定について（小林剛史常任理事）
・2023年より「夏季試験」「春季試験」を加えた年2回の検定が実施されることが報告された。

5. 『応用心理学ハンドブック』刊行について（古屋健理事長）
・9月28日発行予定である。

6. その他
・特になし。

V　審議事項

1. 2021年度決算に関する件（軽部幸浩事務局長）
・2021年度決算書が開示され，審議の結果，承認された。

2. 2022年度予算に関する件（軽部幸浩事務局長）
・2022年度予算が開示され，審議の結果，承認された。

3. 名誉会員の推挙に関する件（古屋健理事長）
・角山剛氏，深澤伸幸氏，山本勝則氏が推挙され，審議の結果，承認された。
・その後，名誉会員証の授与が行われた。

4. 2024年度第90回大会（大会当番機関）に関する件（古屋健理事長）
・帝塚山大学（奈良県奈良市）に大会開催を依頼する提案があり，審議の結果，承認された。

VI　議長解任

VII　2023年度第89回大会委員長挨拶（髙石光一大会委員長）

大会委員長の髙石光一氏（亜細亜大学）から大会開催についての挨拶があった。

VIII　授与式

古屋健理事長より若手会員研究奨励賞，齊藤勇記念出版賞の賞状授与が行われた。

以上

日本応用心理学会　2021 年度決算書

（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

収入の部	決算額	予算額
【会費】	8,047,000	7,984,000
過年度入金	742,000	600,000
当年度入金（一般会員）	6,956,000	7,000,000
当年度入金（院生会員）	216,000	258,000
当年度入金（学生会員）	3,000	6,000
減免対象者	18,000	12,000
前受金	52,000	48,000
賛助会員	60,000	60,000
【「応用心理士」関係】	200,000	320,000
審査料	50,000	80,000
認定料	150,000	240,000
【機関誌・雑収入等】	1,667,247	594,015
機関誌売上	482,500	450,000
雑収入（大会校返戻金）	924,457	40,000
雑収入（大会論文集）	58,000	0
雑収入（抜き刷り代）	69,938	0
著作権使用料	126,324	100,000
受取利息	28	15
減免補助（齊藤勇）	6,000	4,000
小計（A）	9,914,247	8,898,015
小計	9,914,247	8,898,015
前年度繰越金	1,912,631	1,912,631
合計	11,826,878	10,810,646

支出の部	決算額	予算額
【事業費】	1,050,000	1,230,000
第 87 回大会補助費	800,000	850,000
学会賞	60,000	60,000
心理学諸学会連合年会費	60,000	60,000
シンポジウム・講演費謝金	90,000	200,000
研修会講師料	40,000	60,000
【委員会活動費】	281,766	1,080,000
機関誌編集委員会	96,000	300,000
企画委員会	100,000	100,000
広報委員会	0	300,000
認定審査委員会	0	50,000
国際交流委員会	0	50,000
学会活性・若手育成委員会	0	30,000
学会賞選考委員会	42,767	50,000
倫理委員会	0	30,000
齋藤勇記念出版賞選考委員会	0	20,000
学会史編纂委員会	42,999	150,000
【印刷費】	2,748,010	3,560,000
機関誌	2,677,950	3,000,000
広報関係	0	500,000
その他	70,060	60,000
【通信費】	720,595	700,000
機関誌郵送費（広報誌除く）	410,569	500,000
その他（領収書、会費請求送料等）	310,026	200,000
【事業外経費】	3,158,532	3,315,000
常任理事会交通費	41,500	200,000
事務局運営費	535,824	600,000
事務局委託費	1,463,000	1,500,000
会計作業委託費	200,000	200,000
機関誌電子投稿システム費	244,576	300,000
J-Stage 登載費（機関誌第 46-47 巻）*	540,760	350,000
サーバーホスティング料	54,494	55,000
ドメイン料	7,480	10,000
ハンドブック制作費	23,464	50,000
支払手数料（決済代行手数料）	27,434	30,000
予備費**	20,000	20,000
小計（B）	7,958,903	9,885,000
（A）-（B）=単年度収支	1,955,344	△986,985
前期繰越金	1,912,631	1,912,631
次期繰越金（C）	3,867,975	925,646
英文特集号積立金***	250,000	250,000
選挙関連費用積立金****	150,000	150,000
若手育成基金積立金*****	224,457	100,000
積立金計（D）	624,457	550,000
次期繰越金（C）-（D）	3,243,518	425,646
合計（B）＋（D）	8,583,360	10,385,000
次期繰越金	3,243,518	425,646
合計	11,826,878	10,810,646

2021 年度収支（＋）　1,330,887 円

*　例年 J-Stage 登載料は前年度発行分を当年度費用に計上しているが、本年度は 2021 年度発行分も当年度費用に計上した。
**　慶弔費 2 件を使用した。
***　例年通り、英文年報特集号発行のため積立てた。
****　例年通り、選挙関連費用として積み立てた。
*****　若手育成基金へは、例年通り 10 万円の積立のほか、第 87 回大会開催校からの返戻金のうち 124,457 円を積立てた。

＜貸借対照表＞

（一般会計）

資産の部		負債の部	
みずほ年会費口座	5,169,699	未払金	2,548,061
郵便振替口座	531,762	前受金	20,000
未収金	130,000	預かり金	19,882
		合計	2,587,943
		基本金の部	
		次期繰越	3,243,518
		（前期繰越　1,912,631）	
		（当期収支　1,330,887）	
合計	5,831,461	合計	5,831,461

＜別途会計＞

1．特別企画積立金（1）

2020 年度繰越金	3,390,152
受取利息	34
	3,390,186

2．若手育成基金積立金（2）

2020 年度繰越金	1,959,968
2021 年度積立金	100,000
2019 年度積立金	100,000
受取利息	16
	2,284,018

3．英文特集号積立金（1）

2020 年度繰越金	651,512
2021 年度積立金	250,000
	901,512

4．選挙費用積立金（1）

2020 年度繰越金	297,229
2021 年度積立金	150,000
	447,229

5．齊藤勇記念出版賞基金（3）

2020 年度繰越金	99,780
受賞者への褒賞	△30,000
振込手数料	△440
	69,340

注記：
（1）1.の特別企画積立金の口座は、3.の英文特集号積立金と 4.の選挙用費用積立金も管理している。
（2）2.の若手育成基金積立金は、2019 年度未執行の積立（2020 年度未払金計上）と当年度分が積み立てられている。
（3）5.の齊藤勇記念出版賞基金から褒賞を 1 名に振り込んだ。

以上の通り相違ありません。

令和 4 年 7 月 24 日　　監事　　久保 尚也 ㊞

令和 4 年 7 月 28 日　　監事　　深見 将志 ㊞

日本応用心理学会　2022 年度予算書

（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

収入の部			支出の部		
	予算額	前年度予算額		予算額	前年度予算額
【会費】	7,485,000	7,984,000	【事業費】	1,180,000	1,230,000
過年度入金	400,000	600,000	第 88 回大会補助費	800,000	850,000
当年度入金（一般会員）	6,700,000	7,000,000	学会賞	60,000	60,000
当年度入金（院生会員）	250,000	258,000	心理学諸学会連合年会費	60,000	60,000
当年度入金（学生会員）	9,000	6,000	シンポジウム・講演費謝金	200,000	200,000
減免対象者	18,000	12,000	研修会講師料	60,000	60,000
前受金	48,000	48,000			
賛助会員	60,000	60,000			
			【委員会活動費】	1,180,000	1,080,000
【「応用心理士」関係】	400,000	320,000	機関誌編集委員会	300,000	300,000
審査料	100,000	80,000	企画委員会	200,000	100,000
認定料	300,000	240,000	広報委員会	300,000	300,000
			認定審査委員会	50,000	50,000
			国際交流委員会	50,000	50,000
機関誌売上	450,000	450,000	学会活性・若手育成委員会	30,000	30,000
雑収入（大会論文集、抜き刷り等）	100,000	40,000	学会賞選考委員会	50,000	50,000
著作権使用料	100,000	100,000	倫理委員会	30,000	30,000
受取利息	15	15	齋藤勇記念出版賞選考委員会	20,000	20,000
減免補助（齊藤勇）	6,000	4,000	学会史編纂委員会	150,000	150,000
			【印刷費】	3,560,000	3,560,000
			機関誌	3,000,000	3,000,000
			広報関係	500,000	500,000
			その他	60,000	60,000
			【通信費】	800,000	700,000
			機関誌郵送費（広報誌含）	500,000	500,000
			その他（領収書、会費請求送料等）	300,000	200,000
			【事業外経費】	3,245,000	3,315,000
			常任理事会交通費	100,000	200,000
			事務局運営費	700,000	600,000
			事務局委託費	1,500,000	1,500,000
			会計作業委託費	200,000	200,000
			機関誌電子投稿システム費	300,000	300,000
			J-Stage 登載費（機関誌第 48 巻）	300,000	350,000
			サーバーホスティング料	55,000	55,000
			ドメイン料	10,000	10,000
			ハンドブック制作費	30,000	50,000
			アプラスへ口座決済手数料等	30,000	30,000
			予備費	20,000	20,000
小計（A）	8,541,015	8,898,015	小計（B）	9,765,000	9,885,000
			（A）-（B）＝単年度収支	△1,423,985	△986,985
			前期繰越金	3,243,518	1,912,631
			次期繰越金（C）	2,019,533	925,646
			英文特集号積立金	250,000	250,000
			選挙関連費用積立金	150,000	150,000
			若手育成基金積立金	100,000	100,000
			積立金計（D）	500,000	550,000
			次期繰越金（C）-（D）	1,519,533	425,646
合計	8,541,015	8,898,015	合計(B)＋(D)	10,265,000	10,385,000
前年度繰越金	3,243,518	1,912,631	次期繰越金	1,519,533	425,646
合計	11,784,533	10,810,646	合計	11,784,533	10,810,646

＜別途会計＞

1．特別企画積立金（1）

2021 年度繰越金	3,390,186
受取利息	30
	3,390,216

2．若手育成基金積立金（2）

2021 年度繰越金	2,284,018
2022 年度積立金	100,000
受給 1 名（2021 年度受賞者）	△100,000
受取利息	15
	2,284,033

3．英文特集号積立金（1）

2021 年度繰越金	901,512
2022 年度積立金	250,000
	1,151,512

4．選挙費用積立金（1）

2021 年度繰越金	447,229
2022 年度積立金	150,000
	597,229

5．齊藤勇記念出版賞基金（3）

2021 年度繰越金	69,780
受賞者への褒賞	△30,000
振込手数料	△440
	38,900

2022年度　第3回常任理事会：議事録

日　時：2022年9月18日（日）
13時10分～13時30分
場　所：京都工芸繊維大学東3号館　K203
出席者：古屋健（理事長），田中真介（副理事長）*，上瀬由美子，軽部幸浩，川本利恵子*，木村友昭，桐生正幸，小林剛史，田中堅一郎，谷口淳一（以上，常任理事）来田宣幸（第88回大会委員長）*，髙石光一（第89回大会委員長）
事務局：軽部幸浩（事務局長），時田学，山田順子*（以上，幹事）
（＊は欠席者：敬称略，五十音順）

I　報告事項

1. 理事長挨拶（古屋健理事長）
   ・理事長より，常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。
2. 各委員会報告
   1）機関誌編集委員会（上瀬由美子委員長）
      ・特になし。
   2）企画委員会（桐生正幸委員長）
      ・特になし。
   3）広報委員会（谷口淳一委員長）
      ・特になし。
   4）「応用心理士」認定審査委員会（小林剛史委員長）
      ・特になし。
   5）国際交流委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
      ・特になし。
   6）学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）
      ・特になし。
   7）学会活性化委員会（田中堅一郎委員長）
      ・特になし。
   8）齊藤勇記念出版賞選考委員会（代読：軽部幸浩事務局長）
      ・特になし。
   9）倫理委員会（田中真介委員長）
      ・特になし。
   10）学会史編纂委員会（古屋健委員長）
      ・特になし。
3. 終身会員候補者について（古屋健委員長）
   ・令和5（2023）年3月31日時点で70歳になる終身会員候補者について報告があった。
4. 第88回大会について（来田宣幸大会委員長）
   ・特になし。
5. その他
   ・特になし。

II　審議事項

1. 名誉会員推載の件（古屋健理事長）
   ・令和5（2023）年度に名誉会員に推挙される会員はいなかった。
2. その他
   ・特になし。

※次回の常任理事会は，2022年12月10日（土）14時から，オンライン会議または一部対面によるハイブリッド会議で開催予定である。

以上

会員異動

（2022 年 7 月 1 日～2022 年 9 月 30 日の異動）

入会者

有木　永子	飯田　響一	井手　健太
伊藤　将史	岩元　謹英	城戸　透雄
金　嘉宸	桑原　大空	國部　雅大
紺野　剛史	杉森　絵里子	鈴木　美感子
関谷　美希	宋　其静	髙鳥　博正
武田　清香	建本　純子	近野　恵
辻井　寿典	津村　朋江	永峰　大輝
西堀　まゆ	宮原　捺希	村井　あかり
山口　茉優	山口　舞	吉岡　隆宏
吉田　昌宏		

（以上，敬称略）

退会者（希望退会）

大下　里　　本田　幸八

（以上，敬称略）

謹弔

終身会員の本田幸八氏（1942 年 8 月 29 日～2022 年）が，ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

一般社団法人日本心理学諸学会連合 認定

心理学検定

第16回

試験期間
2023年2月21日(火)より3月31日(金)

受検予約開始日
2022年12月24日(土)

割引受検チケット・団体申込期間
2022年12月12日(月)より
2023年1月31日(火)まで

第17回

試験期間
2023年7月18日(火)より8月31日(木)

受検予約開始日
2023年5月20日(土)

割引受検チケット・団体申込期間
2023年5月8日(月)より
6月30日(金)まで

心理学の基礎知識を身につける。実力を試す。

試験会場でコンピュータを用いて解答するCBT形式の試験です。
全国47都道府県にある試験会場からご都合の良い試験会場・日時を選ぶことができます。

一般社団法人日本心理学諸学会連合
心理学検定

お申し込みはこちら。今すぐ詳細を確認！
https://jupaken.jp/

詳細は
ホームページで

Twitterで
最新情報配信中